

「民放ラジオの日」

大槌中で番組収録

「民放ラジオの日」を前に大槌町の中学校でラジオ番組の収録が行なわれました。番組収録が行われたのは震災で被災し、仮設校舎で学校生活を送っている大槌中学校です。日本民間放送連盟では3月3日の「耳の日」を「民放ラジオの日」として統一キャンペーンを展開。地元局が学校を訪問し、ラジオの魅力を知ってもらおうと取り組んでいます。この学校の2年生で去年CDデビューを果たした歌手、臼澤みさきさんが一緒にパーソナリティーを務めました。収録では臼澤さんが去年まで副会長を務めていた生徒会の役員から学校生活や、復興への思いを伝える「語り部プロジェクト」の取り組みなどについて話を聞きました。収録された番組は「民放ラジオの日」の来月3日、午前10時からIBCラジオで放送されます。



宮古発

復興のかけ橋フォーラム

「オールいわてによる復興」をメインテーマに、「復興のかけ橋フォーラム～つながりを力に」が9日、岩手県立大学宮古短期大学部で開催されました。このフォーラムは岩手県といわて未来づくり機構の主催で行われたもので、フォーラムに先立って『人を助けるすんごい仕組み』と題して早稲田大学大学院専任講師、ふんばろう東日本支援プロジェクト代表の西條剛央氏による基調講演が行われました。また、『復興三年目に向けて』をテーマにしたパネルディスカッションでは産学官、そして被災地のNPOなど各分野を代表するパネリストが、被災地復興の現在そしてこれからの課題について意見交換しました。(2/9 岩手日報 IBCニュースより)



震災発生から1年11か月

東日本大震災の発生から11日です。丁度1年と11ヶ月となりました。被災地・陸前高田では行方不明者の捜索が行なわれ、又、月命日にあわせ震災の遺族らが、犠牲者の冥福を祈りました。陸前高田市では釜石海上保安部らによる行方不明者の集中捜索が行なわれました。捜索には2隻の船とヘリコプター1機が参加。警察と消防合同の、90人体制で広田湾内の、行方不明者を探しました。また、陸前高田市にある追悼施設には遺族や市民が訪れていました。旧市役所庁舎の解体工事が本格的に始まった陸前高田市。市では市役所にあった献花台に代わりこの追悼施設を先月、設置しました。慰霊碑の前には多くの花が供えられ訪れた人達は、手を合わせて犠牲者の冥福を祈り、街の復興を願っていました。(2/11 ニュースエコーより)



陸前高田発

モニュメント「奇跡の一本松」設置始まる

あの津波に耐えた事から復興への象徴ともなっている陸前高田の一本松。モニュメントとして加工された「奇跡の一本松」。その一部が戻ってきました。陸前高田へと帰ってきたのは6つに分割された松の幹のうち、根に近い下の部分です。松は、県外の工場に運ばれ、木の中心部をくり抜いて防腐処理が行われました。5か月ぶりに、戻った松の幹。長さは4、5mほどで、地面に固定するため金属製のベースと繋がっています。12日は、そのベース部分をコンクリート基礎へ固定する作業が行なわれました。このあと来月早々にも、残る「幹」や、レプリカの枝葉等が現地に運ばれ組み立てられます。この作業は、3月11日までに終了する見込みで市では3月22日に完成式典を開催する予定です。(2/12 ニュースエコーより)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122